

平成28年度 発達障害の可能性のある児童生徒等に対する早期・継続支援事業
(系統性のある支援研究事業)
成果報告書(概要版)

実施機関名(福岡県教育委員会)

1. テーマ

学校等において、発達障害児を含む障害のある幼児児童生徒の情報を適切に管理及び引継ぎを行うことにより、当該幼児児童生徒に対し一貫した継続性のある支援を提供する。

2. 問題意識・提案背景

本県は、配慮を要する児童生徒に対し一貫した継続性のある支援を実施することをめざし、「発達障害児等教育継続支援事業」を実施している。このことにより、個別の教育支援計画を作成している学校が93.9%へ向上した。しかし、前在籍校と後在籍校との間で、情報の引継ぎが十分ではなかったり、課題の共有化・指導の継続について協議する場が設定されていなかったりするなど支援の一貫性や継続性という視点においては課題がある。特に中高間の引継ぎは入試の壁もあり、情報共有に慎重になっている現状もある。このことに対し、情報の引継ぎのツールとして「ふくおか就学サポートノート(引き継ぎシート)」を作成・配布し、系統性のある支援を行うよう提案している。

本事業では、市町村教育委員会や高等学校の推進地域を中心に、学校間で行う情報共有の在り方(内容や方法)の検討を行い、その成果を広く県内に周知することで、全ての学校で一貫した継続性のある支援が提供されることを目指す。

3. 目的・目標

○目的

県教育委員会及び市町村教育委員会が主体となり、発達障害の可能性のある(学習面又は行動面で何らかの困難を示すと教員が捉えている)幼児児童生徒に対して行われている指導や支援の内容等を、その経過も含めて、適切に進学先に引継ぐための手法について研究事業を行う。

○目標

学校間における適切な情報引継ぎ体制の構築を行う。

指標：平成28年度引継ぎ数の拡大

【参考資料】入学(転学)者について、ふくおか就学サポートノート等により、年度当初に配慮を要する幼児児童生徒の情報が引継がれた数

	幼・保→小学校	小学校→中学校	中学校→高校	合計
平成24年度	554	599	19	1,172
平成25年度	1,030	984	44	2,058

平成26年度	924	1,242	40	2,206
平成27年度	948	1,243	38	2,229
平成28年度	971	1,178	247	2,396

4. 主な成果

<p>①継続支援研究地域運営協議会について（久山町）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中高間（久山町及び高校モデル校）の連携会議では、高校と中学校の管理職及び担当者が揃って会議を行い、生徒情報の引継ぎ時期、内容、手段等について学校間の調整を図るとともに、具体的な活動の方向性をつくることができた。また、町の連携会議では、各学校の特別支援教育の推進状況を確認し、校種間でどの時期にどのような内容を引継ぐかということが明確にできた。その上で、適切に情報を引継ぐ為に、各学校等で何を準備していけばよいかということが整理できた。 ・ 運営協議会において中から高への情報提供の時期は、合格発表後入学前までに行うことに時期を決定した。平成28年度高校入学については、当該生徒3校4名分の情報を進学予定校に対して入学前に情報提供を行うことができた。 <p>②専門的な指導員（学校間連携コーディネーター）の配置について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高等学校配置の学校間連携コーディネーターにおいては、中学校と高等学校との連携が重要になるため、それぞれの学校種と特別支援教育に造詣が深い経歴を持った者（特別支援学校管理職経験者）を配置し、対象高等学校で入学者の多い中学校を抽出し、中学校訪問（久山町以外の市町を含む）を行った。 ・ このことにより、各中学校の状況が把握でき、特別な支援を必要とする生徒の入学が決定した場合は、できるだけ早期に本人及び保護者から申し出や「引き継ぎシート」（個別の移行支援計画）による引継ぎを依頼することができた。 ・ 久山町教育委員会においては、前特別支援学校校長1名と臨床心理士3名を学校間連携コーディネーターとして指名し役割を分担した。このことで、臨床心理士は児童生徒観察、教育相談、発達検査実施及びフィードバック、各学校・園教諭への具体的な対応指導を行うことができた。また、前特別支援学校校長は、臨床心理士の見立てを受け、保護者に対する「ふくおか就学サポート」作成依頼及び作成支援、引き継ぎシートの内容検討、進学先学校（高校を含む）との連携に関する連絡調整、久山町保幼小中での具体的な対応に関する指導・助言等を行うことができた。
--

5. 指定校における取組概要

<p>①持続的な引継ぎシステムを指向した個別の教育支援計画等の作成方法等の研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼保小の統一した引き継ぎシートを学校間連携コーディネーターとともに作成した。また、中高間においても、幼保小同様「引き継ぎシート」を作成し、発達障害の可能性のある生徒の情報を県立、私立高校ともに引き継ぐことができた。（久山町） ・ 抽出した学区内中学校25校を訪問し、次年度入学者に関する指導の在り方に

ついて引継ぎを依頼した。その中で統一した引継ぎを行うために「ふくおか就学サポートノート（引き継ぎシート）」による引継ぎを依頼した。（モデル高校）

②進学前後における適切な引継ぎ内容及び時期等の研究

- ・ 町内の幼保小中においては、それぞれの校種間連絡会（3月末）において「引き継ぎシート」を活用し、円滑に引継ぎを行った。（久山町）
- ・ 高等学校第4学区については、久山中から受験予定の全ての高等学校（私立を含む）に対し1月に事前訪問（説明）を行い、合格発表後に情報提供を行うことについて了承を得た。
- ・ 地域運営協議会を通して、モデル地域中高間については合格発表後にコーディネーターが引継ぎ資料を持参し各学校を訪問するとともに、入学後の支援について引継ぎを行うことで調整できた。（久山町、モデル高校）

③児童生徒本人及び保護者の同意を得つつ、引継ぎを実施する体制の整備評価手法

- ・ 各幼保小中では、作成したチェックシートをもとに発達障害の可能性のある幼児児童生徒を早期発見し、学級担任、コーディネーター等が随時保護者と面談を行った。面談では子供の発達の現状、今後の支援や進路について教育相談を行い保護者の合意を得つつ、円滑な引継ぎができる準備を行った。（久山町）
- ・ 高校では入学ガイダンス時に、相談支援啓発リーフレットを配布し学校窓口を含め説明を行った。その結果、保護者から発達検査の受診希望があり専門機関につなぐことができた。現在は、専門機関の助言を受け授業担当者の共通理解のもと適切な支援に努めている。（モデル高校）

6. 今後の課題と対応

- 「ふくおか就学サポートノート」の内容検討と一層の活用促進
 - ・ 福岡県版の活用促進（政令市教育委員会に向けた積極的広報）
 - ・ 久山町版の内容充実（チェックシートと支援シートの見直し）
- 小中学校管理職研修会（副校長・教頭研修会）における理解啓発の推進
 - ・ 指導主事による情報引継ぎの必要性の説明
 - ・ 推進地域（久山町教育委員会）による実践発表
- 個別の教育支援計画（ふくおか就学サポートノート対応版）の積極的広報
- 個別の教育支援計画へ合理的配慮の明記
 - ・ 指導と評価の明記による保護者との共通理解
- 学校間における情報引継ぎのシステム化
 - ・ 特別支援教育推進の手引（平成29年度作成予定）における推進地域事例紹介
- 中学校及び高等学校特別支援教育コーディネーター悉皆研修会における適切な情報引継ぎをテーマにした協議の実施
 - ・ 中高間連携課題の明確化と課題解決に向けた協議
 - ・ 中高間連携の推進に向けた特別支援教育コーディネーターの役割の明確化
- 学校間連携コーディネーターのこれまで以上の積極的活用
 - ・ 久山町配置と高等学校配置の学校間連携コーディネーターの情報共有の推進

7. 指定校について

【前在籍校】

指定校名：久山町立久原小学校 ※代表して2校の内の1校を明記												
	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
通常の学級	58	2	60	2	62	2	54	2	51	2	61	2
特別支援学級	0	0	3	0	1	0	0	0	3	0	0	0
通級による指導 (対象者数)	1	0	2	0	2	0	1	0	3	0	1	0
	校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	ALT	事務職員	特別支援教育 支援員	スクールカウンセラー	その他	計	
教職員数	1	1	14	1	6	0	1	0	0	4	28	

指定校名：久山町立久山中学校											
	第1学年				第2学年				第3学年		
	生徒数		学級数		生徒数		学級数		生徒数		学級数
通常の学級	87		3		69		2		83		3
特別支援学級	3		0		2		0		2		0
通級による指導 (対象者数)	2		0		2		0		4		0
	校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	ALT	事務職員	特別支援教育 支援員	スクールカウンセラー	その他	計
教職員数	1	1	15	1	7	0	1	0	1	1	28

【後在籍校】

指定校名：久山町立久山中学校											
	第1学年				第2学年				第3学年		
	生徒数		学級数		生徒数		学級数		生徒数		学級数
通常の学級	87		3		69		2		83		3
特別支援学級	3		0		2		0		2		0
通級による指導 (対象者数)	2		0		2		0		4		0
	校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	ALT	事務職員	特別支援教育 支援員	スクールカウンセラー	その他	計
教職員数	1	1	15	1	7	0	1	0	1	1	28

指定校名：福岡県立魁誠高等学校 ※代表して2校の内の1校を明記											
学級数及び児童生徒数											
課程	学科	第1学年		第2学年		第3学年				第4学年	
		生徒	学級数	生徒	学級数	生徒数		学級数		生徒	学
全 日 制	総合学 科	274	7	272	7	267		7		0	0
教職員数											

校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	A L T	事務職			その他	計
1	2	5 2	2	14	1	14	0	1	6	93

8. 問い合わせ先

組織名：福岡県教育庁教育振興部義務教育課

- (1) 担当部署 義務教育課特別支援教育室
- (2) 所在地 福岡市博多区東公園7番7号
- (3) 電話番号 092-643-3914
- (4) FAX番号 092-643-3912
- (5) メールアドレス kgikyo@pref.fukuoka.lg.jp